

研究開発課題中間評価結果

| | |
|-----------|--|
| 事業名（領域名） | 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 (RNA 標的創薬技術開発) |
| 公募研究開発課題名 | 新規 RNA 標的医薬品の研究開発 |
| 評価研究開発課題名 | 新規 RNA 標的医薬品の研究開発 |
| 代表機関名 | 国立大学法人東海国立大学機構 |
| 研究開発代表者名 | 上野 義仁 |
| 所属・役職 | 岐阜大学 応用生物科学部・教授 |
| 全研究開発期間 | 令和3年度開始～令和7年度終了予定 |

【評価結果】

優れている／計画を超えて進捗している

【評価コメント】

核酸化学と糖鎖化学を組み合わせたプロジェクトが有効で安全な核酸医薬を創出する独自の方向性で進行しており、計画通りに進捗していることが強みと考えられ、また特定の受容体を標的とした化合物をコンジュゲートとして使用し、海外からの出資を得ていることも評価された。

一方で、一部の研究計画に遅れが見られ、論文発表が少ないことや、DDS フリーの条件下での最適なノックダウンの投与量が未確定である点が弱みとして挙げられた。最終的な製剤化や動物試験についても今後の課題と考えられる。

非常に高度な技術を要する難易度の高い合成を実施しているが、一部評価委員にその点が伝わっておらず、プレゼンテーションに一層の工夫が望まれる。